

第26回人間サイズのまちづくり賞 受賞者概要 知事賞

- まちなみ建築部門

kikiki PARK (三木市)

大阪避雷針工業神戸営業所 (神戸市兵庫区)

淡路市立津名図書館 ミヨット (淡路市)

宍粟わかば (宍粟市)

神戸電鉄 花山駅 (神戸市北区)

- まちづくり活動部門

いえしまコンシェルジュ株式会社 (姫路市)

一般社団法人まちなね浜甲子園 (西宮市)

豊岡まち塾 (豊岡市)

- 花緑部門

津井コミュニティクラブ (南あわじ市)

多紀連山のクリンソウを守る会 (丹波篠山市)

kikiki PARK (三木市)



▲大屋根が特徴的な店舗棟と天然芝の広場



▲様々な地域イベントが実施されるイベント広場

事業主 株式会社コーベヤ

設計者 ICE/ichie architects

XSA笹村白石建築設計事務所

施工者 株式会社高階

施設概要

- 「からだ」をテーマとして、カフェ・野球ショップ・芝生広場で構成された、民間企業が作る公共空間としての施設
- 半屋外のテラスや建物中央の広場（トライアルスペース）により、建物内部と屋外空間が融合
- イベント企画や遊具貸し出しも行い、日常的に遊んでもらえる公園のようなオープンスペース



▲明るく開放的なカフェ空間



▲工房が見える野球ショップ

大阪避雷針工業神戸営業所 (神戸市兵庫区)



▲まちの景色になじむ「大庇」をシンボルとした外観



▲空間の一体性を生む1階吹き抜け・共創スペース

事業主 大阪避雷針工業株式会社
設計者 株式会社 竹中工務店
施工者 株式会社 竹中工務店

施設概要

- 減築と増築を同時に行い、震災を耐え抜いた建物を次世代へ残す構造計画で、ダイナミックな既存躯体の魅力を活かした事業所
- 周囲のボリュームに合わせて減築で高さを下げるとともに、大庇により、まちに開放的な印象を付与
- 既存躯体の再利用に加え、環境に配慮した構造材の採用により新築に比べ、建設時のCO2排出量を71%低減



▲開放的な印象をつくる大庇



▲自然換気・採光による快適な事務室

淡路市立津名図書館 ミヨット (淡路市)



▲既存音楽ホール(右側)と活かし合いつくる、新しいまちなみ景観



▲にぎわいの表情をまちにみせる



▲交流を育むエントランス



▲木質の閲覧スペースと情報発信の場「あわじ出会いのみち」

事業主 淡路市
設計者 昭和・多田設計共同体
施工者 株式会社出雲建設

施設概要

- ひと・知識・情報との出会いの場をコンセプトとした、いつでも誰でも利用できる市民の集いの場となる図書館
- 工作スタジオや展示・イベントのスペースに加えて、屋外には遊具もあり、利用者の交流を促進
- まちづくりや市民協働の拠点であり旗印となる「サポーターズルーム」をエントランスに設置し、多彩な市民活動が展開

宍粟わかば (宍粟市)



▲豊かな自然環境に溶け込む「C字」型の木造平屋の園舎



▲内と外をやさしくつなぐ「広縁」「濡縁」

事業主 社会福祉法人山崎若葉保育園
設計者 有限会社エムズ建築設計事務所
施工者 株式会社山弘

施設概要

- 県産木材を活用し、豊かな自然のなかでこども達がたくましく育つよう、園庭を中心に「内と外のつながり」を重視したこども園
- 耐火性能を高めた上で、室内の仕切りを少なくして見通しよくするなど、園児と保育士にやさしい保育空間を実現
- 地域のこどもとの交流や子育て相談の場として活用される地域子育て支援相談室を設置



▲見通しの良い遊戯室



▲地域子育て支援相談室

神戸電鉄 花山駅 (神戸市北区)



▲六甲・摩耶山系の麓の景観になじむ大屋根



▲見通しの良い改札空間

事業主 神戸電鉄株式会社
設計者 株式会社イチバンセン
全日本コンサルタント株式会社
株式会社ANDO Imagineering Group
施工者 西松建設株式会社
株式会社フカエ



▲イベントが開催される広場



▲待ち合わせが楽しくなるベンチ

施設概要

- 「神鉄沿線モヨウガエ」プロジェクトで再整備された、地域の新しいシンボルになる大屋根と分棟型の見通し・風通しの良い構成を持つ駅
- 軒の高さに変化を持たすことにより、光と影を調整し、自然採光の気持ちの良いパッシブデザインの空間を実現
- 旧駅舎跡地はイベント広場とし、マルシェ等のイベントが催され、花山駅の新しい生活シーンを演出



▲島の暮らしを知る観光ガイド・体験プログラム



▲海が見える一棟貸し宿泊施設



▲大学生との空家DIYプロジェクト



▲島グルメのお祭り「いえしまーけっと」

代表者 中西 和也

活動概要

- 採石業・海運業という産業で栄えてきた家島で、多様な事業を展開し、島の暮らしを存続するための活動
- 年間最大2,500人を案内した観光ガイドや1,000名近くの来場者を集めたイベントの開催などにより家島を活性化
- 空き家を改修し宿泊施設や賃貸物件として活用することで、観光客の増加や移住促進に貢献

一般社団法人まちなね浜甲子園 (西宮市)



▲住民が手伝い盛り上げる「まちなねピクニック」



▲毎月2回の公園清掃活動



▲近隣住民が運営するカフェ



▲保護者が保育所や幼稚園の情報を共有する「はまこー情報局」

代表者 井川 舞

活動概要

- 子育て・健康・防災減災の3つをテーマに掲げ、浜甲子園団地が抱える課題を主体的に解決できるようなエリアをつくるための活動
- コミュニティスペース・カフェ・教室用レンタルスペースの3つの拠点を運営し、多様な収益事業やスタッフにより持続可能な活動を実施
- イベントは企画・運営も住民が主体的に行うことで、無理なく継続できる体制を構築

豊岡まち塾 (豊岡市)



▲復興建築を巡る町歩きガイドの様子



▲空き店舗を活用したイベント



▲北但大震災99年講演会を開催



▲復興建築が多く残る豊岡市中心部の魅力を発信する町歩きマップ

代表者 朝日 健司

活動概要

- 豊岡市中心市街地の歴史を学び、独自の町並みを保存し、継承していくための活動
- 町歩きガイドの養成や町歩きマップの作成などの魅力発信活動を続けることで、豊岡復興建築群が景観遺産に認定されることに貢献
- 全国的なイベントへの関与や他団体のコラボ、教育・研究活動など多方面での活動を実施

津井コミュニティクラブ (南あわじ市)



▲地元の名所となる3段瓦花壇



▲アジサイ植栽活動の様子



▲小学生が絵を描いた瓦の装飾



▲公民館や瓦組合と協力して整備したコミュニティ花壇

代表者 川口 佳子

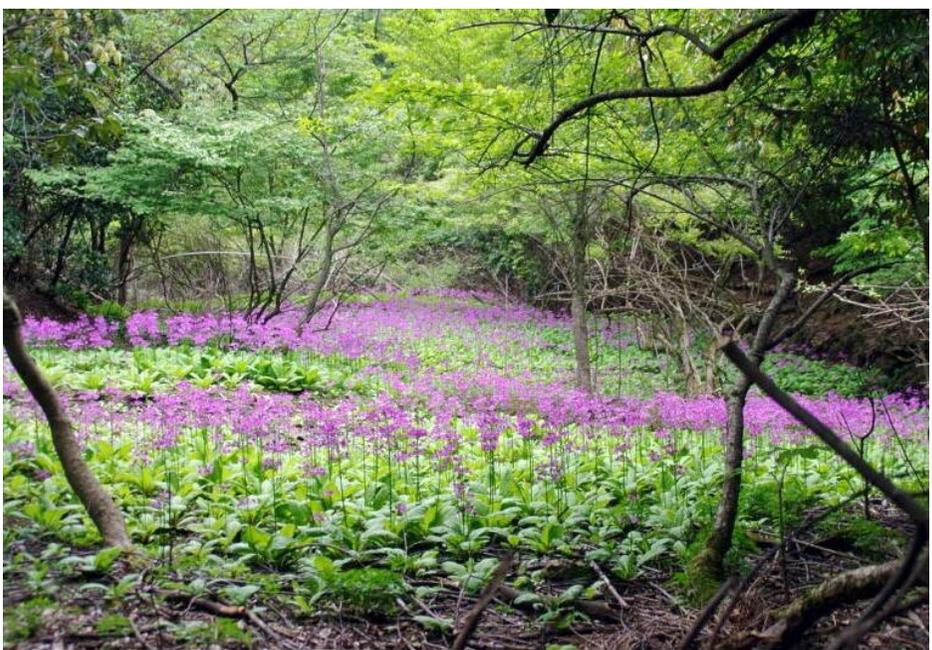
活動概要

- 津井地区の景観向上と環境改善を図りながら、地域住民とのコミュニケーションを深めるための活動
- 地元特産品の淡路瓦14万枚を手で積み上げて花壇を整備、いぶし瓦とオレンジ色の瓦を組み合わせたデザインで地元の名所を創出
- 地域の子供たちや公民館・瓦組合、複数の花緑団体が協力しながら活動を実施

多紀連山のクリンソウを守る会 (丹波篠山市)



▲クリンソウ群生地にて定点観測をする様子



▲自生しているクリンソウ群落

代表者 細見 隆夫

活動概要

- 御嶽山中腹（海拔793メートル）の広大な場所（4,300㎡）に自生する約17万株のクリンソウを保全するための活動
- クリンソウの開花時期（5～6月）に合わせて、観察路（遊歩道）を整備し、自生地を公開
- 行政との連携や地元小学生との交流などにより自然に対する啓蒙に貢献



▲地元小学校のクリンソウ見学



▲市民センターでのパネル展示